



一 早稲田大学校歌

都の西北早稲田の東  
さびゆる草花わかれの母校  
われらの日頃の抱負をこころや  
進歩の精神學の府を  
現世をわにぬれん人々の理想を  
輝くわれらのりきを足るや  
あせふ〜〜〜  
あせふ〜〜〜

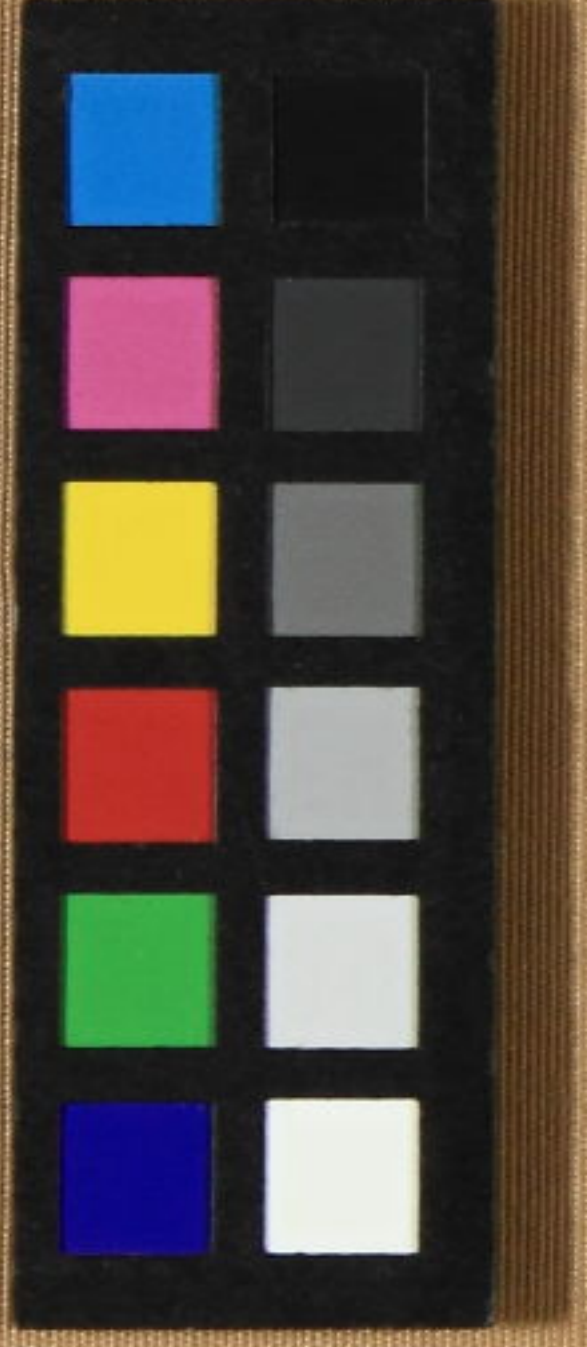
二

東西古今の文化のうきは  
一つこころはまゝ大なる國の  
大なる使命を担ひしこと  
われらのりきをこころや  
やぶらぬ人々の理想のこころ  
あせふ〜〜〜  
あせふ〜〜〜

三

あせふ〜〜〜のこころ  
心ふるはとれぬの母校  
あつさり散らばる人ばはれを  
ゆるくも同志を理想の光  
いささか〜〜〜  
われらの母校の心をこころ  
あせふ〜〜〜  
あせふ〜〜〜  
相馬の風作研





都の西北の稲田の支分  
 三ひゆるの燕もわかれの母校  
 わかれらの日頃の抱負をこころや  
 進士の精神の夢の抱負  
 現世をわいれぬり人々の理想を  
 輝くわかれらのりまを足よや  
 わせぬ〜〜〜  
 わせぬ〜〜〜

稲田の支分  
 三ひゆるの燕もわかれの母校



東・西・南・北の文代のうきは  
 一つふうはまゝ大なる園の  
 大なる使命を担ひて上る。  
 女はしらにらまさまのあはれを  
 やさしむらんよの理あるのくも  
 まよふあゝ天に下るよのいも  
 ちせぶるゝゝゝ  
 ちせぶるゝゝゝ

あれ見よかきかたぬえのあま  
 心のあましと我々の母校  
 あつさり 散じて人ばかりを  
 伝へたる同志を理あふのえ  
 いさききりまらへこまもころふ  
 われらの母校の名をを讃へむ  
 わせむ  
 わせむ  
 わせむ

相馬市風作編む